

Information

開館時間 Open hours

- 平日・土曜日 9時00分～21時00分
- 日曜日・祝日 9時00分～18時00分
(プール・ボウリング室を除き、12時15分～13時00分までは休憩させていただきます)
- ・Weekdays and Saturday : 9:00 ~ 21:00
- ・Sunday and National holidays : 9:00 ~ 18:00
(Lunch break 12:15~13:00 except Swimming pool and Bowling room.)

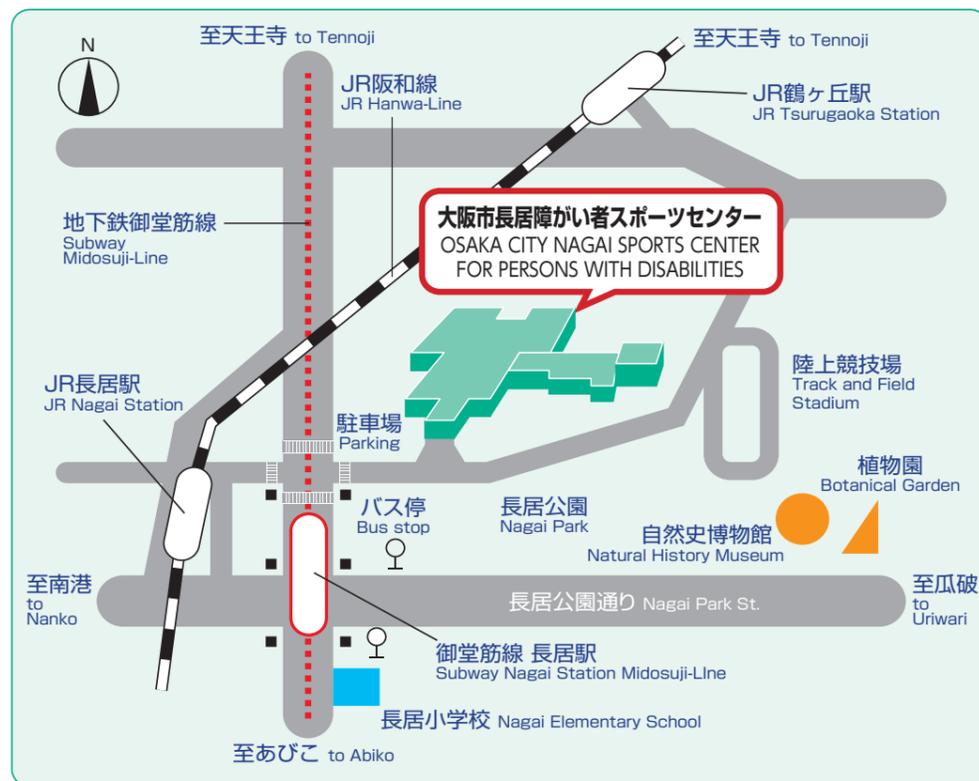
休館日 Closed

- 毎週水曜日および第3木曜日
(その日が国民の祝日等にあたる場合は開館)
- 12月29日～翌年1月3日
- ・Every Wednesday and the third Thursday
When the national holiday falls on Wednesday or the third Thursday, we are open.
- ・December 29 through January 3

使用手続 How to use

- 個人／使用当日、利用カードや障がい者手帳等を受付で提示してください。
- 団体／あらかじめ、センター所定の申請書でお申し込みください。3カ月前から予約を受付けています。
- Individuals - On that day visitors are required to show a certificate of disability and user-card at the reception desk.
- Groups - Please make a booking in advance. We accept the booking from 3 months before.

Access



地下鉄 御堂筋線長居駅1号出入口から・・・北へ約140m
市バス 地下鉄長居停留所から・・・北へ約310m
JR阪和線 長居駅から・・・東へ約220m

About 140 meters to north・・・from the No1 exit of Nagai station of subway, Midosuji-line.
About 310 meters to north・・・from Subway Nagai stop of bus.
About 220 meters to east・・・from Nagai station of JR Hanwa-line.

所在地 Address & Phone

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1番32号
1-32, Nagai-koen, Higashisumiyoshi-ku, Osaka-shi, 546-0034

TEL.06-6697-8681 FAX.06-6697-8613

ホームページ <http://www.fukspo.org/nagaissc/>

長居障がい者スポーツセンター
40th
Anniversary Since 1974
40年の感謝を込めて

大阪市長居障がい者スポーツセンター

OSAKA CITY NAGAI SPORTS CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIES



《指定管理者》 社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会
OSAKA CITY WELFARE AND SPORTS ASSOCIATION FOR PERSONS WITH DISABILITIES

スポーツを通して

可能性はますます広がります

1974年、大阪市は日本で初めて、障がいのある人がスポーツを通して、体力の維持・増進・身体機能の回復や向上を図るほか、精神的にも自信と勇気を養い、社会参加の機会を増やし、豊かな日常生活を送っていただくためにこの施設を設立しました。障がいのある誰もが、いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができるよう運営しています。

Expanding Possibilities

Through Sports

In 1974, the Osaka City Nagai Sports Center for persons with disabilities was established as the first sports center for people with disabilities in Japan. Our mission is to provide sports services for those with disabilities with the goals of stimulating the development of health and physical fitness, self-confidence, social interaction, and quality of their lives. Our trained staff assists the users to become familiar with various sports based on the individual needs and interests.



会議室 (Meeting Room)

PCプロジェクタ、DVD/ビデオデッキなどを備えています。約120人収容でき、間仕切りにより3室に分割できます。

PC projector, DVD/ VCR are set. It can accommodate 120 people. It can be divided into three rooms by partition.



プール (Indoor Swimming Pool)

25m6コースの室内温水プールです。スロープからも入水できます。1・2コースは他のコースより40cm浅くしてありますので安心して泳いでいただけます。

25m×six lanes, with a ramp with hand-railings for easy access into the water. Lane No1 and No2 are 40cm shallower than other lanes for safe swimming.



体育室 (Gymnasium)

バスケットボール、バレーボール、テニスやバドミントンなどができます。

Users can enjoy basketball, volleyball, tennis, badminton, etc.



ラウンジ「ゆにてい」 (Lounge)

喫茶、食事をしていただけるラウンジです。お弁当の販売も行っています（要予約）。

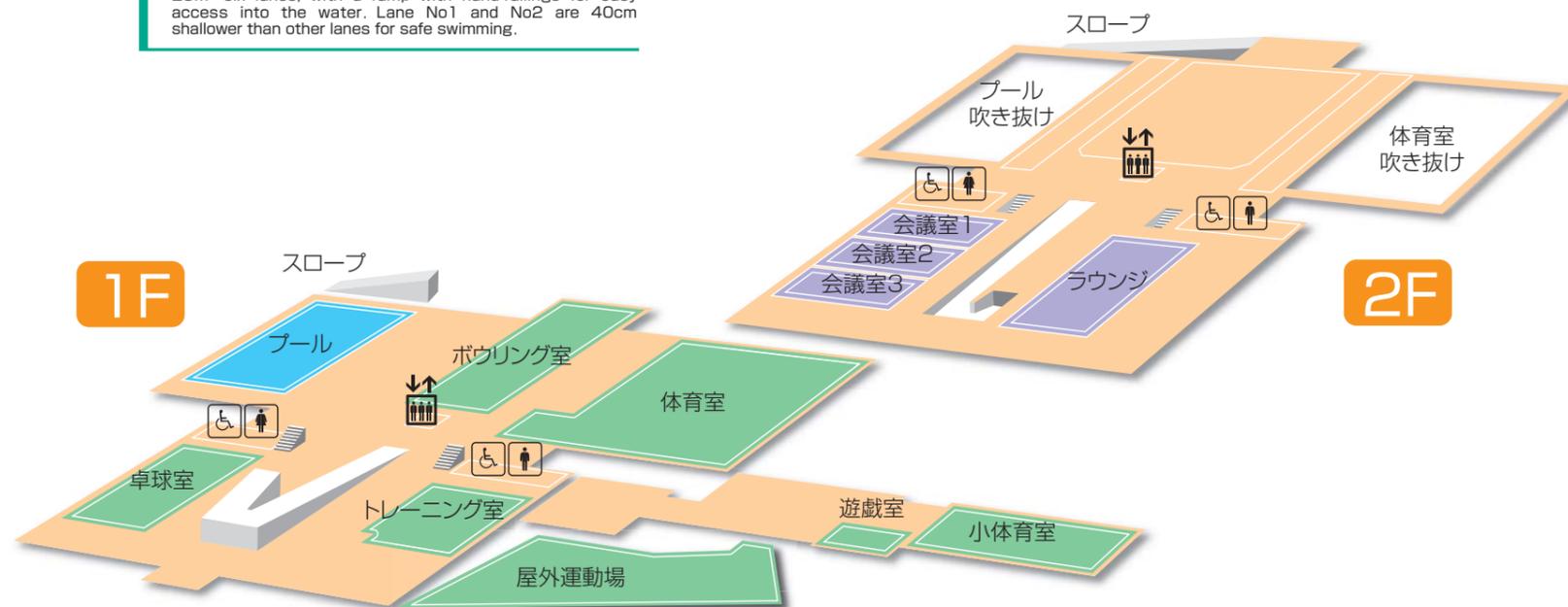
This lounge provides snacks and meals. Packed lunch is also available (only by ordering in advance)



卓球室 (Table Tennis Room)

卓球用6台、サウンドテーブルテニス（視覚障がい者の卓球）用3台を常設しています。

6 tables and 3 tables for the visual impaired are set.



トレーニング室 (Training Room)

エアロバイクやルームランナーなどの各種トレーニング機器を備えています。また、バランスボール、ストレッチボールなどの用具もあります。

Various training machines are available for health and rehabilitation purpose.



ボウリング室 (Bowling Room)

ノンガターシステムがついた4レーンを設置しています。視覚障がい者の方も楽しくプレイできるように触覚、音響装置を備えています。

4 lanes are set with handrails for throwing. Special devices for the visual impaired, such as the touch system to inform the remains of pins and the sound system to inform the direction to pins are available for each lane. Also, throwing device is available.



屋外運動場 (Playground)

50mまでのアーチェリー場として使用できるほか、フライングディスク、キャッチボール、サッカーの練習など多目的に利用できます。

Users can enjoy archery (50m), flying disc, playing catch, soccer, etc.



小体育室 (Secondary Gymnasium)

トランポリンやマットを常設し、やわらかいボールなどの遊具があります。

A trampoline, mats, and so on, is available anytime. Users also can challenge some equipment like monocycle, stilts.



遊戯室 (Play Room)

畳敷きのプレイルームとして、気に入ったおもちゃで自由に遊ぶことができます。

The room is filled with Japanese tatami, carpet, where users can play with various toys.

おかげさまで 40 周年

長居障がい者スポーツセンターは、昭和 49(1974)年 5 月、日本で初めての障がい者のためのスポーツ施設として開館し、平成 26(2014)年で 40 周年を迎えました。「いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができる」という基本方針のもと、これまで 900 万人以上の方が利用されています。

沿革

年・月	内 容	年・月	内 容
【昭和】		【平成】	
49. 5	開館記念式典	元. 8	'89RESPO大阪(障害者レクリエーション大会)開催
49. 6	第1回スポーツ教室開講	2. 12	第1回大阪ふれあい水泳大会開催
49. 7	秩父宮妃殿下ご視察	3. 3	第1回日本身体障害者陸上競技選手権大会開催
49. 9	寛仁親王殿下ご視察	3. 4	第1回日本車いすマラソン大阪大会開催
49. 12	第1回クリスマスの集い開催	3. 7	秋篠宮殿下、同妃殿下ご視察
50. 2	第1回大阪市身体障害者青少年スキー教室開講	3. 9	大阪市障害者スポーツ指導者養成講習会開講
50. 5	開館1周年記念行事開催	6. 2	寛仁親王殿下をお迎えして第20回大阪市身体障害者スキー教室記念大会開催
50. 8	第1回盆踊り大会開催	6. 10	開館20周年記念式典
51. 5	第1回ボランティア教室開講	9. 10	大阪市舞洲障害者スポーツセンター開館
51. 8	機関紙「スポーツセンターだより」創刊号発行	9. 10	大阪市長居障害者スポーツセンターに名称変更
52. 8	第1回身体障害者体育・スポーツ研究発表会開催	9. 11	第33回全国身体障害者スポーツ大会「ふれあいピック大阪」卓球競技会場
53. 12	「身体障害者のためのスポーツ指導 - 肢体不自由編 -」発行	9. 11	皇太子殿下、同妃殿下が卓球競技ご視察
54. 4	開館5周年記念「第8回日本車椅子バスケットボール選手権大会」開催	11. 1	寛仁親王殿下をお迎えして大阪市障害者スキー教室指導者講習会開講
54. 6	高松宮殿下ご視察	11. 4	開館25周年記念「国際親善(日本・豪州)女子車椅子バスケットボール大会」開催
54. 8	常陸宮殿下・同妃殿下ご視察	13. 4	第1回大阪市障害者スポーツ大会開催
54. 9	開館5周年記念文集「気力」発行	15. 2	国際親善車椅子バスケットボール大阪大会開催
55. 4	スウェーデン国王カール16世・同妃殿下ご視察	16. 1	第30回大阪市障害者スキー教室に特別指導員として寛仁親王殿下ご臨席
55. 11	皇太子殿下・同妃殿下ご視察	16. 10	開館30周年記念式典(寛仁親王殿下ご臨席)
55. 12	「身体障害者のためのスポーツ指導 - 視覚・聴覚・言語障害編 -」発行	16. 12	第1回大阪市障害者スポーツミーティング開催
56. 3	第1回日本肢体不自由者卓球選手権大会開催	18. 4	地域・障害者のスポーツ振興プロジェクト開始
56. 7	重度身体障害者(児)体育訓練施設開館式	19. 8	IAAF世界陸上2007大阪大会障害者招待事業開催
58. 10	三笠宮妃殿下ご視察	19. 10	リハビリテーション相談事業開始
59. 5	開館10周年記念式典(シンボルマーク制定)	23. 3	「出張スポーツ・レクリエーション教室プログラム事例集」発行
59. 9	第1回日本身体障害者水泳選手権大会開催	24. 1	障害の理解講座開講
61. 7	「精神薄弱者のためのスポーツ指導」発行	25. 3	「高次脳機能障がい者の運動を考える」発行
62. 11	寛仁親王妃信子殿下ご視察	26. 2	車椅子バスケットボール親善交流会in大阪開催

写真で振りかえる40年

障がいのある人がスポーツに親しめる環境を

日常におけるスポーツ指導



▲プール指導風景(昭和 54 年頃)

昭和 49 年の開館当初より、障がい者が「いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができる」という基本方針のもと、各室に指導員を配置し、「障がいを少しでも軽くし日常生活を充実させたい」「健康・体力の維持増進」「レクリエーション」「競技力の向上」など、利用者のさまざまな目的に対応してきました。

スポーツ教室の開講



▲車椅子バスケットボール教室 (昭和 50 年頃)

スポーツ教室は、技術やマナーの習得を目的として、昭和 49 年から毎年開講し、障がい者のスポーツの生活化に寄与してきました。開館当初は、技術習得系の教室が中心でしたが、平成 11 年頃からは健康志向に対するニーズにも応え、自由に参加できるダンス系・リフレッシュ系の教室や脳血管障がいや股関節障がいなど、障がいに特化した教室も実施しています。

スポーツクラブの育成



▲アーチェリークラブ (昭和 57 年頃)

センターでは、スポーツ教室を修了した人々が仲間づくりやスポーツの継続化を図るために、自主的なクラブ運営を支援してきました。開館当初はアーチェリー、卓球、水泳など 6 つのクラブから始まり、これまで 19 のクラブが誕生しました。中には全国的な競技団体の基盤となったクラブもあり、競技会の開催や選手育成など、障がい者スポーツの組織化に貢献してきました。

我が国における障がい者スポーツの先駆けとして

長居から始まった競技大会



▲大阪身体障害者陸上競技選手権大会(昭和 62 年頃)(後の日本身体障害者陸上競技選手権大会)

スポーツクラブのメンバーが中心となり、平素の練習だけではなくその成果を試すために、自主的に競技会を開催するようになりました。初めは大阪大会や近畿大会規模の競技会でしたが、水泳、陸上競技、卓球、電動車椅子サッカー、バドミントンなど、後に日本選手権大会にまで発展した大会が数多くあります。現在は組織化も進み、毎年継続的に開催されています。

障がい者スキー教室



▲第20回大阪市身体障害者スキー教室 (平成 6 年)

大阪市が主催して、昭和 50 年に第 1 回教室が開講されました。大阪市の障がい者が大自然の中でスキーに親しめるようにとの願いから、寛仁親王殿下のご指導のもと、誰もが自分の技術に合わせてスキーを楽しむことができました。この教室を通じて、昭和 54 年には蔵王で開催された「世界スキー指導者会議」で指導法を発表、ノルウェーの大会にも選手を派遣してきました。

指導法などの発信



▲研究紀要第1集 (昭和 50 年) ▲身体障害者のためのスポーツ指導(昭和 55 年)

開館当初から、日常の指導現場における成果や課題を研究紀要としてまとめ、また、障がい別の指導書、地域での指導に役立つプログラム集の発刊、各種調査研究など、全国の障がい者スポーツ関係者に発信する役割を果たしてきました。さらに、昭和 52 年より、センターが事務局となり、日本障害者体育・スポーツ研究発表会を開催し、今年で 38 回を数えます。

地域とともに40年

夏祭り(盆踊り大会)



▲第25回盆踊り大会(平成11年)

「気軽に盆踊りに参加したい」との利用者の声きっかけとなり、昭和50年より毎年開催しています。参加者は、センターの利用者だけでなく、近隣の住民やボランティアの方々など、地域と一体となった催しとなり、毎回2000人の方が参加しています。盆踊りや夜店を楽しみながら、障がいのある人とない人が交流する場にもなっています。

クリスマスの集い



▲第5回クリスマスの集い(昭和53年)

開館した昭和49年から開催しており、当初はダンスパーティーの趣でしたが、途中からは劇や手品などの子供の部とバンド演奏などの大人の部の2部構成での開催となりました。平成に入ってから、日頃からセンターで活動しているグループのダンス発表などの要素も加わり、夏祭り同様、地元の大阪大和川ライオンズクラブの皆さんのご支援をいただき開催しています。

地域スポーツ振興事業



▲出張教室(平成19年)

障がい者が、センターだけでなく身近な地域でスポーツやレクリエーションに親むことができるよう、平成18年より出張教室を開始しています。最近では、区単位での活動が広がるよう「障がい者スポーツ・レクリエーションひろば」として地域展開が進んでいます。その他、各区イベントの事業協力や小・中学校などでの福祉教育の授業にも協力をしています。

大阪市のスポーツ振興を担って

国際大会出場選手の指導



▲第5回パラリンピック大会(トント大会)出場森本雅美選手の練習風景(昭和51年)

開館3年目の昭和51年から、センターの利用者を中心とした大阪市在住の選手が、パラリンピックやデフリンピック(聴覚障がい者の世界大会)などの国際大会に毎回出場しており、その選手育成に力を注いできました。また、職員自らも日本選手団のコーチとして多くの大会に帯同してきました。2020年の東京パラリンピックに向けて、さらに選手強化を進めていきます。

日本車いすマラソン大阪大会



▲第10回日本車いすマラソン大阪大会(平成13年)

平成3年より、国内トップ選手はもとより海外選手も招待し、沿道の多くの声援を受け、南港コース、舞洲コース、長居公園周回コースなどで開催してきました。また、300人を超えるボランティアに支えられ、併催事業も充実した地域に根付いた大会となりました。現在では、大阪マラソンに車椅子マラソンの部が設けられ、この大会の意義が受け継がれています。

国際親善車椅子バスケットボール大阪大会



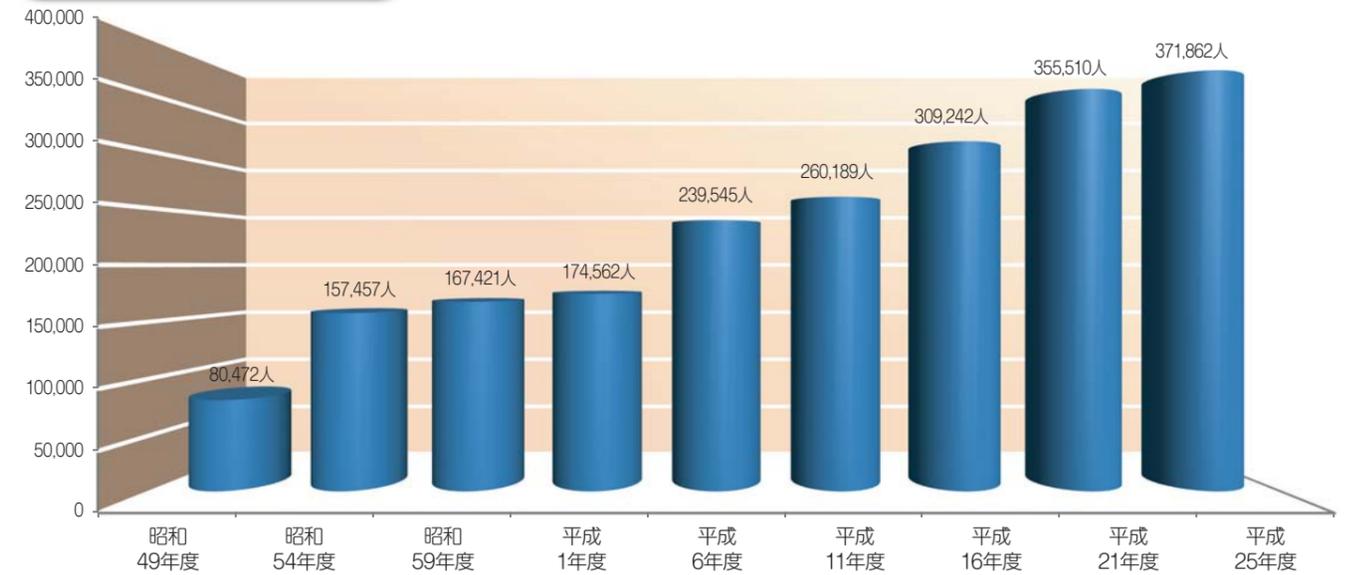
▲2010国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会(平成22年)

平成15年より、大阪市中央体育館を主会場に車椅子バスケットボールの4ヵ国対抗の親善大会を開催してきました。単なる競技会としてではなく、学校単位で観戦できるように平日の設定や各チームが小・中学校を訪問する学校交流会、肢体障がいのある子供たちが選手から指導を受けるジュニアレッスンなど、市民の障がい者理解に多くの役割を果たしてきました。

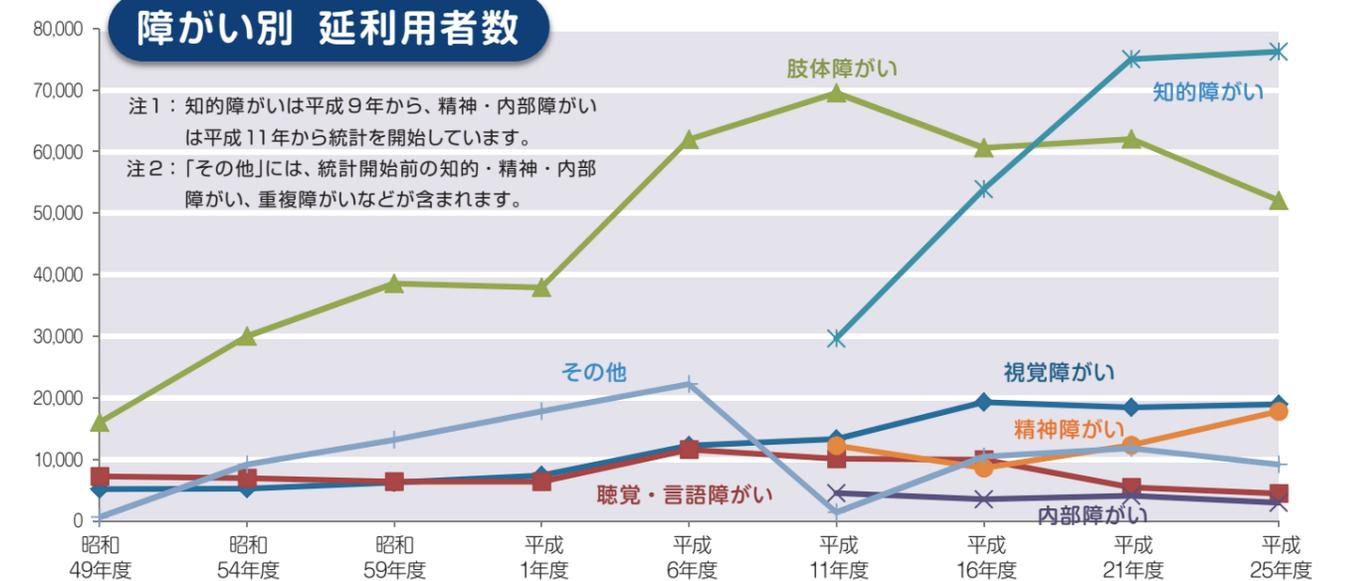
利用状況

年度別 延利用者数

平成9年に舞洲障がい者スポーツセンターが開館しましたが、利用者数は減ることなく増え続けており、平成25年度の長居・舞洲両館の延利用者数は62万人にのぼります。



障がい別 延利用者数



施設別延利用者



年齢別延利用者

